

木協通信

第78号
発行年月日
令和3年12月1日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167



★第55回全国木材産業振興大会

10月14日、第55回全国木材産業振興大会が札幌市で開催されました。高村行雄様が当組合の共販、総務の各委員長を務め、組合の発展に貢献したこと、この度、全国木材協同組合連合会会長賞を受賞しました。誠にありがとうございます。



★修学旅行で木協の仕事を観察

今年は近場で修学旅行等が出来るようになりました。11月に組合にも3つの中学生や高校生が訪れていただきました。11月8日に佐伯市立鶴谷中学校2年生34名、11月16日に日田市立東部中学校3年生42名、11月24日に県立別府翔青高校2年生61名が来組され、仕事の内容や現場を視察しました。学校でもSDGsを勉強しており、林業や木材産業が15番の「陸の豊かさを守ろう」だけでなく14番の「海の豊かさを守ろう」や例えば7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」では環境に優しい木造建築やバイオマス発電などで貢献していること。13番の「気候変動に具体的な対策を」では木材が炭素を貯蔵していることなど、大部分の項目で貢献していることを話し、環境を守るために若い方に関わりを持ってもらいたい等のお話をしました。



★第6回木造建築推進セミナー

住宅以外の木造建築物の建設を推進するため、平成27年度からこれまでに5回のセミナーを開催してきました。開催日数は41回で延べ861名の建築士等に受講していただきました。今回は新型コロナウイルスの影響等もあり、オンラインでの参加も可能です。

11月から2回開催し、直接参加者は40名でオンライン参加者が24名でした。第1回目はM〃S建築設計の佐藤実代表から「いよいよ吹き始めた木造への風、よりよい木造建築を建てるには」と題して耐震性能に考慮した高性能な家づくりが大切である等のお話がありました。2回目は元シーボードジャパンの面手精二代表の「ウッドショックは、なぜ起こり、いつ収束するか」等の題で木材利用の進化やウッドショックの影響等のお話がありました。講師の見立てでは後3ヶ月程度はこの状況が続く、収束してもコロナ前の様な価格には戻らず、ある程度維持するだろうとの見通しを示されました。12月に2回開催します。最後は12月18日に大成建設の講師が「ゼネコンにとって木造建築とは」等の研修を予定していますのでご参加をお願いします。



★令和3年度商工従業員表彰

11月22日、日田商工会議所主催による商工従業員表彰式がパトリアにて開催されました。勤続年数5年から50年、5年刻みの表彰で、特別表彰を含め248名の方々が表彰されました。まず初めに、アトラクションとして、日林工吹奏楽部の演奏、続いて表彰式、最後にくじ抽選会が催されました。組合員従業員では下記の方々が表彰されています。

後藤ちえみ (有)カネサダ横尾木工所 (20年)
高浪さゆり 日田木材協同組合 (20年)
矢羽多光貴 (有)安心院製材所 (15年)
松原智史 (株)佐藤製材所 (15年)

藤原知恵 タナカ産業(株) (15年)
毛利大國 (有)安心院製材所 (10年)
江田博士 (有)安心院製材所 (10年)
島田崇浩 (株)佐藤製材所 (10年)
矢野雅敏 (株)佐藤製材所 (10年)
森下馨 (株)佐藤製材所 (10年)
三苦勝男 (有)高村木材 (10年)
熊谷雄一郎 (株)深津製材所 (10年)
梶原美智子 タナカ産業(株) (10年)
新貝 太 (株)佐藤製材所 (5年)
江田拓弥 (株)佐藤製材所 (5年)

誠にありがとうございます。

★令和3年度ジョブカフェ ビジネス合コン企業説明会

ジョブカフェおおいだ日田サテライトの主催による企業説明会が11月28日(日)にサンヒルズ日田にて開催されました。

高校生以外の一般就職希望者を対象にしています。参加者は約35名でした。

参加企業は33社で、午前と午後の部に別れています。

当組合も、5名の方に企業説明を行って行いました。組合の概要説明や製材所の説明を作業環境が良くなったこと、就職先の候補の一つとして選んでもらいたいと思います。



☆お知らせ

○令和3年度木づかい促進事業

一般のリフォーム等の枠はありませんが、災害で被害を受けたリフォームや建替えについては、予算枠が770万円ほど残っていますのでお知らせします。

また、大分県が実施しています新築やリフォーム、木塀の予算が全体で1億1千万円ほど残額があります。リフォーム等をする予定の方がいましたら、木材を少しでも多く使って頂けるよう事業内容の周知などPRのご協力をお願いします。

○職員採用を内定

令和4年1月5日から32歳の男性職員を採用し、原木市場課に配属する予定です。

他の市場に比べたら取扱量は少ないですが、製材所への丸太の安定供給は大切な仕事です。取扱量を増やすため努力しています。皆様で森林所有者等が伐採を計画しているなどご存じのことがあればご一報頂くなどご協力をお願いします。